

教科指導法(音楽)

科目ナンバリング ESS-309
選択 2単位

田崎 教子

1. 授業の概要(ねらい)

小学校音楽科における目標、内容、方法、評価について基本的事項を理解した上で、「表現」と「鑑賞」の具体的な内容を実践しながら、指導に必要な知識・技能を修得する。さらに、模擬授業の立案と実施を通して、音楽を指導するための実践力を養う。

2. 授業の到達目標

- ①小学校音楽科における目標、内容、方法、評価について理解する。
- ②「表現」と「鑑賞」の具体的な内容に触れることにより、各分野に必要な知識・技能を修得する。
- ③模擬授業の実施を通して、授業を構成し実践するための指導力を身に付ける。

3. 成績評価の方法および基準

- ①グループ発表・課題提出 30%
- ②模擬授業の立案と実施 40%
- ③総括的なレポート 30%

4. 教科書・参考文献

教科書

有本真紀・阪井恵・津田正之編著 『新版 教員養成課程 小学校音楽科教育法』 教育芸術社
文部科学省編 『小学校学習指導要領解説—音楽編—』 東洋館出版社
帝京大学初等教育研究会編 『小学校教師の専門性育成』 現代図書

5. 準備学修の内容

- ①日常生活において、身の回りから聴こえる音や音楽に敏感でいること。
- ②幅広いジャンルの音楽に触れ、児童が興味・関心をもつ音楽を把握しておくこと。
- ③音楽を他の媒体で表現すること、音楽で何かを表現すること等に意欲的に取り組むこと。

6. その他履修上の注意事項

- ・日常生活において、音楽に触れる機会を多くもつよう心がけること。
- ・集団で行う音楽の楽しさや素晴らしさを感じられるよう、授業内の課題に積極的に取り組むこと。
- ・器楽の授業でソプラノリコーダーを使用するため、予め用意しておくこと。

7. 授業内容

【第1回】	授業ガイダンス、音楽科の目標・内容・方法・評価	
【第2回】	表現：歌唱活動について(歌唱共通教材について)	〔対面授業〕
【第3回】	表現：歌唱指導(パートナーソング・輪唱) グループ発表①	〔対面授業〕
【第4回】	表現：歌唱指導(パートナーソング・輪唱) グループ発表②	〔対面授業〕
【第5回】	表現：器楽活動(ソプラノリコーダーについて)	〔対面授業〕
【第6回】	表現：器楽指導(ソプラノリコーダーの演奏) グループ発表	〔対面授業〕
【第7回】	表現：音楽づくりの活動(リズムカードによる音楽づくり) グループディスカッション	〔対面授業〕
【第8回】	表現：音楽づくりの指導(リズムカードによる音楽づくり) グループ発表	〔対面授業〕
【第9回】	鑑賞：鑑賞活動と指導における留意点 グループディスカッション	〔対面授業〕
【第10回】	指導案の立案と模擬授業の実施について グループディスカッション	〔オンライン授業〕
【第11回】	模擬授業①：歌唱教材による授業 グループ発表	〔対面授業〕
【第12回】	模擬授業②：器楽教材による授業 グループ発表	〔対面授業〕
【第13回】	模擬授業③：音楽づくり教材による授業 グループ発表	〔対面授業〕
【第14回】	模擬授業④：鑑賞教材による授業 グループ発表	〔対面授業〕
【第15回】	指導法(音楽)における総括	〔対面授業〕